

I 【数学①・数学②，どちらも解答】

次の空所を埋めよ。（配点 40）

(1)  $a = \frac{-3 + 2\sqrt{11}}{7}$  は 2 次方程式  $7x^2 + \boxed{\text{ア}}x - 5 = 0$  の解であり，

$f(x) = 7x^3 - x^2 - 11x + 8$  とするとき， $f(a) = \boxed{\text{イ}}$  である。

(2)  $\log_3 7 \cdot \log_7 \frac{1}{9} = \boxed{\text{ウ}}$  である。

また，実数  $x$  が  $x > 1$  かつ  $\log_5 x^2 - \log_x 125 = 1$  を満たすとき，

$x = \boxed{\text{エ}}$  である。

(3)  $t$  を実数とする。原点を  $O$  とする座標空間内の点  $A(-1, 1, 4)$  と  
点  $P(t-2, -3t-4, -2t+2)$  について， $\overrightarrow{OA}$  と  $\overrightarrow{OP}$  が垂直となるのは，  
 $t = \boxed{\text{オ}}$  のときである。

また， $t = 1$  のとき， $\overrightarrow{OA}$  と  $\overrightarrow{OP}$  のなす角を  $\theta$  ( $0 \leq \theta \leq \pi$ ) とすると，

$\tan \theta = \boxed{\text{カ}}$  である。

(4) 単位円上に 4 点  $A(1, 0)$ ,  $B(0, 1)$ ,  $C(-1, 0)$ ,  $D(0, -1)$  をとる。

点  $P$  は  $A$  を出発点とし，さいころを 1 回投げごとに

6 の目が出たら単位円上を反時計回りに隣りの点に移動し，

6 以外の目が出たら単位円上を時計回りに隣りの点に移動する。

(i) さいころを 2 回投げて移動したとき， $P$  が  $C$  にいる確率は  $\boxed{\text{キ}}$  である。

(ii) さいころを 3 回投げて移動したとき， $P$  が  $B$  にいる確率は  $\boxed{\text{ク}}$  である。

Ⅱ

【数学①・数学②，どちらも解答】

次の空所を埋めよ。（配点 30）

(1) 初項 4, 公差 2 の等差数列  $\{a_n\}$  の一般項は  $a_n = \boxed{\text{ア}}$  ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) である。

また,  $b_1 = 7, b_{n+1} = b_n + a_n$  ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) を満たす数列  $\{b_n\}$  の一般項は

$b_n = \boxed{\text{イ}}$  ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) であり,  $\sum_{n=1}^{17} b_n = \boxed{\text{ウ}}$  である。

(2) 四角形 ABCD は円に内接し,  $AB = 5, BC = 3, CD = DA = 7$  とする。

このとき,  $\angle ABC = \boxed{\text{エ}}^\circ$  であり,  $AC = \boxed{\text{オ}}$  である。

また, AC と BD の交点を E とすると,  $\sin \angle BEC = \boxed{\text{カ}}$  である。

Ⅲ 【数学①のみ解答】

次の空所を埋めよ。（配点 40）

- (1)  $i$  を虚数単位とし、2つの複素数  $\alpha, \beta$  が  $\alpha^3 = \beta^3$  を満たすとする。

ただし、 $0 < \arg \frac{\beta}{\alpha} < \pi$  とする。このとき、 $\left| \frac{\beta}{\alpha} \right| = \boxed{\text{ア}}$  であり、

$\frac{\beta}{\alpha} = \boxed{\text{イ}} + \boxed{\text{ウ}} i$  である。ただし、 $\boxed{\text{イ}}, \boxed{\text{ウ}}$  は実数とする。

また、複素数  $z$  が等式  $|z - 2| = 2$  を満たすとき、複素数  $w = 1 + \frac{\beta}{\alpha} z$  が表す点

は複素数平面上の円  $\left| w - \boxed{\text{エ}} \right| = 2$  上にある。

- (2) 座標平面上を運動する点  $P(x, y)$  の時刻  $t$  における  $x$  座標,  $y$  座標がそれぞれ

$x = t^2 - 2t, y = \frac{t^3}{3} - t^2$  であるとする。このとき、

$\left( \frac{dx}{dt} \right)^2 + \left( \frac{dy}{dt} \right)^2 = \left( t^2 - 2t + \boxed{\text{オ}} \right)^2$  であり、 $\left( \frac{d^2x}{dt^2} \right)^2 + \left( \frac{d^2y}{dt^2} \right)^2 = \boxed{\text{カ}}$

である。よって、点  $P$  の加速度の大きさが最小となる時刻は  $t = \boxed{\text{キ}}$  であり、

$t = 0$  から  $t = \boxed{\text{キ}}$  までに点  $P$  が動く道のり  $s$  の値は、 $s = \boxed{\text{ク}}$  である。

**IV****【数学①のみ解答】**

$f(x) = e^{2x} - 4e^x + 3$  とする。このとき、次の問いに答えよ。 (配点 40)

(1) 関数  $f(x)$  を微分せよ。

(2)  $g(x) = \frac{1}{f(x)}$  とする。関数  $g(x)$  の増減を調べて、 $g(x)$  の極値を求めよ。

(3)  $\frac{t}{t^2 - 4t + 3} = \frac{A}{t - 1} + \frac{B}{t - 3}$  が  $t$  についての恒等式となるような定数  $A, B$  を求めよ。

(4)  $e^x = t$  において、置換積分法を用いて、 $\int_{\log 4}^{\log 5} \frac{e^{2x}}{f(x)} dx$  の値を求めよ。

V 【数学②のみ解答】

次の空所を埋めよ。（配点 40）

- (1)  $p$  を実数とする。3次方程式  $x^3 - 11x^2 - 12x + p(x+1) = 0$  は、  
 $p$  の値に関係なく  $x = \boxed{\text{ア}}$  を解にもつ。

この3次方程式が異なる2つの正の実数解  $\alpha, \beta$  ( $\alpha < \beta$ ) をもつとする。

このとき、 $p$  の値の範囲は  $\boxed{\text{イ}} < p < \boxed{\text{ウ}}$  である。

また、 $\alpha^2, \beta^2$  を2つの解とする  $x$  の2次方程式は  $x^2 - (\boxed{\text{エ}})x + \boxed{\text{オ}} = 0$   
である。ただし、 $\boxed{\text{エ}}$ 、 $\boxed{\text{オ}}$  は  $p$  の式とする。

- (2)  $k$  を実数とし、 $r > 0$  とする。

円  $(x-3)^2 + (y-2)^2 = r^2$  を  $x$  軸方向に  $k$ 、 $y$  軸方向に  $2k$  だけ平行移動した円を  
 $C$  とすると、 $C$  の中心  $P$  の座標は  $(\boxed{\text{カ}}, \boxed{\text{キ}})$  である。

また、点  $P'(2k, 2k)$  と点  $P$  の距離を  $d$  とするとき、 $d = \sqrt{\boxed{\text{ク}}}$  である。

さらに、 $r = 4$  とし、点  $P'$  を中心とする半径 1 の円を  $C'$  とする。

このとき、円  $C'$  が円  $C$  の内部にあるような  $k$  の値の範囲は、

$\boxed{\text{ケ}} < k < \boxed{\text{コ}}$  である。

**VI****【数学②のみ解答】**

$a$  を正の実数とする。直線  $l_1: y = -ax$  と放物線  $C: y = x(x - 3a)$  の  
原点  $O$  以外の交点を  $P(p, q)$  とする。このとき、次の問いに答えよ。 (配点 40)

- (1)  $p, q$  の値を求めよ。
- (2) 放物線  $C$  の点  $P$  における接線  $l_2$  の方程式を求めよ。
- (3) 曲線  $y = x(x - 3a)$  ( $x \geq p$ ) と線分  $OP$  および  $x$  軸で囲まれた図形の面積  $S$  を求めよ。
- (4) (2) で求めた直線  $l_2$  と  $y$  軸の交点を  $Q$  とし、 $\angle OPQ = \theta$  ( $0 \leq \theta \leq \pi$ ) とする。  
 $\tan \theta = 2\sqrt{2}$  のとき、 $a$  の値を求めよ。